

■ 指定管理者制度導入施設 最終評価シート ■

1 基本情報

公の施設名	相模原市立古淵デイサービスセンター
指定管理者名	社会福祉法人たけのうち福祉会
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
施設設置条例	相模原市立高齢者デイサービスセンター条例
施設の設置目的	在宅の介護を必要とする高齢者に対し、入浴、給食その他のサービスを提供することによって、心身機能の維持向上等を図るとともに、その家族の身体的及び精神的な負担を軽減し、もって高齢者の福祉の増進に關与するため。
施設概要	高齢者が自宅から通い、入浴、食事などの日常生活の世話や機能訓練を受けられる施設 所在地：相模原市南区古淵4-24-1 古淵住宅1階 延床面積：398.13㎡（機械室除く） 主な施設：作業及び日常動作訓練室、浴室、食堂、相談室、会議室、ボランティア活動室 構造：鉄筋鉄筋コンクリート造 開所時間：午前8時30分から午後5時15分まで 休所日：日曜日及び土曜日、年末年始（12月29日から1月3日まで） 定員数：25名
施設所管課	健康福祉局 地域包括ケア推進部 高齢・障害者福祉課

2 管理実績

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数合計（人）	4,920	4,382	4,148	4,760	5,891
介護報酬等収入（円）	46,905,103	41,177,332	37,531,941	42,642,708	54,187,719
利用者負担金等収入（円）	9,129,929	7,898,912	7,445,202	9,061,206	11,400,878
収入総額（円）	56,479,846	49,381,331	45,685,461	53,623,541	66,327,321
支出総額（円）	53,209,546	52,230,424	46,093,786	50,545,025	64,846,432

※平成30年6月から令和元年5月の期間は土曜日も開所しています。

3 成果指標の達成度

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価点 (20点満点)	評価点
評価(5評価)	C	C	D	C	A		

指標	
指標名（単位）	利用率（%）
指標式と指標の説明	年間利用者数÷（1年間の営業日数×利用者定員数） ※利用者定員数に対する年間の利用割合

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値（%）	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
実績値（%）	77.2	59.0	62.6	74.1	92.0
達成度×1.05（%）	81.3	62.1	69.2	81.9	101.7

※ 制度上、定員制限があるため、実績値100%が最大値になります。実績値100%でも目標値95で割ると達成度は105%になり、評価基準上「A」評価となってしまいます。令和元年度以降は実績値100%の場合に「S」評価とするため、1.05を乗じ、達成度が110%になるように調整しています。平成30年度は土曜開所の取組による利用率減であるため「C」評価としています。

4 事業の実施状況

評価(5評価)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価点 (20点満点)	評価点
			A	A	A		15

企画提案事業

主な事業名	内容等	効果等
外出機能訓練	利用者ごとに目標を立て近隣を歩く歩行訓練のほか、公園などを歩き季節を感じる	歩行訓練は通年で開催し、利用者全員が参加
買い物機能訓練	社会的リハビリと自然に歩行距離が延びることを目的に、近隣の店舗に買い物に行く	各年度数日開催し、利用者計347名が参加(令和元年度50名、令和2年度35名、令和3年度262名)
敬老会	利用者と職員の写真などの動画を流し、職員が歌を歌う。職員や同一法人の保育園児からプレゼントを贈る	各年度数日開催し、利用者計122名が参加(令和元年度49名、令和3年度73名)
運動会(スポーツ大会)	個人戦・団体戦のいろいろなプログラムに挑戦	各年度数日開催し、利用者計347名が参加(令和元年度50名、令和2年度35名、令和3年度262名)
クリスマス会	パンやパイなどを作るほか、同一法人の保育園児とクリスマスを祝う	各年度数日開催し、利用者計199名が参加(令和元年度45名、令和2年度86名、令和3年度68名)、令和3年度に保育園児約30名参加

自主事業

主な事業名	内容等	効果等
社会貢献活動(バザー)	利用者等が作成した作品を地域の方とバザーで販売し、売上を児童養護施設の子供達へ寄付する	令和3年度は寄付金を含む164,000円分の図書券を子供達へ贈った

5 利用者の満足度

評価(5評価)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価点 (20点満点)	評価点
	B	B	C	C	B		8

利用者満足度調査

調査手法	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会に委託した無記名アンケートを期間中に利用実績のある利用者に配布回収。実績値(満足度)はアンケートによる事業所の総合評価点
目標値の基準	本市の高齢者等実態調査(令和元年度までは平成28年度に実施した調査、令和2年度からは令和2年度に実施した調査)における、デイサービスを含む居宅介護サービスへの満足度の設問に対する「満足」、「おおむね満足」の合計の割合

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値(%)	89.8	89.8	89.8	89.1	89.1
実績値(%)	84.5	78.1	79.4	80.1	83.2
達成度(%)	94.1	87.0	88.4	89.9	93.4

利用者意見の把握に資するその他の取組

主な取組事項	取組内容
アンケートBOX	施設受付にアンケートBOXを設置し、利用者からの意見や要望を随時受け付けている。受け付けた内容は毎月確認し職員会議の議題として検討する。

利用者意見に対する対応

主な意見	対応内容
①塗り絵の図柄を増やしてほしい。 ②外出する機会を増やしてほしい。 ③座っている時間が長いので休憩時間の活用方法を考えて欲しい。 など	①塗り絵の絵柄は複数ありますが、新しいところで八十八か所の霊場巡りや他のものもさらに増やしました。 ②外出は毎日機能訓練として外を歩いています。気分が変わるような外出としてコロナの状況も踏まえ近くの公園まで歩いていく、近くのお店に買い物に行ってみる等を実施してみました。 ③座っている時間が長いという点については、施設内どこにいつ動いてもらっても構わないように自由にお過ごし頂いています。ご自分で廊下からその先まで歩きに行ってみたり、別のお部屋に掲示されたものを見ながら動いてみたり、玄関前でゆったりと過ごしてみたり、お仲間とおしゃべりされたり、自分のやりたいパズルやお相手を見つけて囲碁対局をなさる方もいらっしゃいます。食後の休憩時間にご自分で何をすればいいのかわからない方が何か活用したいと感じられているのだと思いますので、その方を見つけて職員がお声掛けが出来るように気を付けていきます。 運動面に力を入れるという点につきましてはもう少し詳しくお聞きしないとわかりづらい為ご利用者の普段のお声に耳を傾けて対応していきたいと思っております。

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価点 (20点満点)	評価点
	A	B	B	S	S		

施設の収支概要

(千円)

項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収入 (a)	56,480	49,381	45,629	53,624	66,327
介護報酬等	46,905	41,177	37,532	42,643	54,188
利用者負担金等	9,130	7,899	7,445	9,061	11,401
その他	445	305	652	1,920	738
支出 (b)	50,797	50,350	45,764	50,193	55,988
人件費	41,114	41,296	35,962	39,034	44,573
事業費	6,091	6,332	5,742	6,691	7,156
事務費	3,386	2,722	3,948	4,271	4,156
その他	206	0	112	197	103
本体事業収支 【(a)-(b)】(c)	5,683	-969	-135	3,431	10,339
自主事業収入 (d)	0	0	0	159	164
自主事業支出 (e)	0	0	0	159	164
自主事業収支 【(d)-(e)】(f)	0	0	0	0	0
事業活動収支 【(c)+(f)】(g)	5,683	-969	-135	3,431	10,339
施設整備等収入 (h)	0	0	0	0	0
施設整備等支出 (i)	0	0	0	0	2,712
施設整備等収支 【(h)-(i)】(j)	0	0	0	0	-2,712
その他収入 (k)	0	0	57	0	0
その他支出 (l)	2,413	1,880	330	353	6,147
その他収支 【(k)-(l)】(m)	-2,413	-1,880	-273	-353	-6,147
全体収支 【(g)+(j)+(m)】(n)	3,270	-2,849	-408	3,078	1,480
備考	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度の事業活動収支減は利用者数減によるもの。 令和2年度、3年度の事業活動収支増は利用者数増によるもの。 令和3年度の施設整備等支出は送迎車両購入によるもの。その他支出増は人件費積立資産によるもの。 				

7 管理業務の履行状況

検査項目	確認結果				
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
管理業務			適正に実施	適正に実施	適正に実施
危機管理			適正に実施	適正に実施	適正に実施
人員配置・地元活用			適正に実施	適正に実施	適正に実施
現金管理			適正に実施	適正に実施	適正に実施
会計・経理			適正に実施	適正に実施	適正に実施
情報セキュリティ			適正に実施	適正に実施	適正に実施
情報公開・個人情報保護			適正に実施	適正に実施	適正に実施
市への報告事項・事前承認等			適正に実施	適正に実施	適正に実施
加点の有無			適正に実施	適正に実施	適正に実施
主な加点内容			無	無	無

8 指定管理者の自己評価

・中重度率45～48%の状況が数年続いていたあと、重度者の中止が続き、短期間で空いてしまった枠をすぐには埋められず経営的に厳しい時期もありましたが、新規獲得の営業を工夫し継続していく中で、また新しいご利用者をお迎えしながら現在の稼働率に上げてきました。令和3年度は逆に軽度者率が高くなってきました。当施設のホームページやブログ、新聞等を見たケアマネージャーやご利用者のご家族がその活動内容を見て利用を希望されるケースが増え、軽度者が多くなってきたように感じています。軽度者が多くなるとショートステイのお休みも減り、体調不良や通院等のお休みも少なくなりますので稼働率が上がってきますが、経営的には軽度者が多いと収入は減ります。お休みの枠が出たら当日連絡でも構わないので利用したいというご家庭が2件あったことでほぼ毎日25名という時期が長く続いたことで稼働率を上げるという点ではとても助かりました。身体的にはお元気で認知面でも一人に出来ないというご利用者の割合が増えています。

・いつも通り営業を継続しながらその年、その時期に与えられた状況に応じた施設運営を継続していきます。

9 所管課意見

・利用率の低下と新型コロナウイルス感染症の流行が重なり、デイサービスセンターの運営、利用者確保は非常に困難な状況であったと考える。成果指標の目標値は達成していないものの、最終年度に指定期間中で一番の利用率を記録したことは評価できる。

・指定管理期間を通じて、施設設置の目的に沿ってデイサービスセンターを管理運営したこと、高齢者の心身機能の維持向上等を図るための事業を実施したことは評価できる。

・次期指定管理期間においても、市立施設として利用率を意識しながら、中重度の積極的な受入れを図っていただきたい。

・最終年度に利用率が増加しているが、コロナ禍においても、効率的な広報活動を行っていただけたものと評価できる。

10 選考委員会意見

(指定管理者に対する意見)

・この指定管理期間においては、新型コロナウイルス感染症の流行があり、高齢者のデイサービスセンターを運営する上では、重症化リスクの高い利用者対応、感染防止対策、職員の調整など非常に苦労されたと考えられる。そのような中で、利用者の安全確保をした上、試行錯誤しながら事業を継続していただいたことに感謝したい。

・事業においては、地域とのつながりを意識しながら社会貢献活動(バザー)を継続して実施したこと、またその売り上げ等を被災地や施設へ寄付したことは大変評価できる。

・デイサービスセンターを利用されている方に対しては、地域共生社会が掲げる「支え手」、「受け手」という関係を超えて、利用されている方の強みを少しでも活かしていただけるような関係づくりを意識していただきたい。

(所管課に対する意見)

・次期指定管理期間においては、管理実績の項目に利用者の内訳等を記載していただきたい。また成果指標の達成度にも中重度の利用率を追加していただきたい。

総合評価 (自動判定)

B

(59/100)

